

鎌倉音楽茶論 【 イタリア～器楽の夜明け 】

「カフェサンスーシ」がお贈りするサロンコンサート

バロック・ヴァイオリン・シリーズ 第十三弾！



7月14日（日） 14時～

於：カフェサンスーシ

（鎌倉雪の下3-10-23

清泉小正門前）

会費：2600円（珈琲・紅茶付、
ケーキセット＋400円）

要予約 0467-23-7223 岡本

17世紀のイタリアでは、ヴァイオリンの登場や楽器の改良によって器楽音楽の時代が到来、ヨーロッパ各地へと伝えられて行きました。バロック時代前半のイタリアの器楽ソナタを、ヴァイオリンと、リュートから発展したテオルポの二重奏でお届け致します！

～演奏予定曲目～

M・Uccellini：ソナタ または カンツォン集 op.5 より

I・Albertini：ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ第11番

J・B・Fontana：ソナタ集（1641年）より第1番 他

～出演者プロフィール～

今 卓也（バロック・ヴァイオリン） 東京生まれ 6歳よりヴァイオリンを故清水章央氏（N響）に師事 バロック・ヴァイオリンを小野蕙里氏、寺神戸亮氏、ジャズを寺下 誠氏に師事 マルチ分野の演奏活動を展開 古楽アンサンブル代表

杉山 尚史（テオルポ） 東京音楽大学卒業。

コントラバスを松本武全、斎藤輝彦、リュート、通奏低音を櫻田亨各氏に師事。コントラバスのみならずリュート、テオルポでの通奏低音奏者、ウクレレ講師、またアマチュアオーケストラ等の演奏団体の指導者としても活動。生涯学習音楽指導員。